

第1回近江八幡市立安土小学校整備地選定委員会(要旨)

1. 開催日時 令和2年7月29日(水) 午後7時30分～9時00分

2. 開催場所 安土町総合支所3階議員控室

3. 出席委員等 ◎寺村 浩 委員長、○深井 千恵 副委員長
善住 宏治 委員、川原崎 真弓 委員、重野 芳広 委員
木野 和也 委員、鵜飼 文雄 委員、善住 昌弘 委員

近江八幡市教育長 日岡 昇

4. 事務局出席者

教育部長	西川 仁司
教育総務課長	秋山 直人
教育総務課長補佐	藪田 毅
教育総務課主事	岡地 竜男

5. 会議を傍聴した者 7人

6. 内容

- (1)開会
- (2)挨拶
- (3)任命書ならびに委嘱状交付
- (4)委員紹介
- (5)委員長、副委員長選出
- (6)検討説明書説明(事務局)
- (7)質疑意見等
- (8)その他
- (9)閉会

7. 議事

- (1)開会

- ・事務局より「近江八幡市立安土小学校整備選定委員会設置要綱」に基づき、設置目的、所掌事項、任期等を説明
- ・「近江八幡市会議の公開に関する取扱要綱」に基づき当委員会は公開とし、議事録は市ホームページ等で公開する

(2)挨拶(日岡教育長)

現在の安土小学校は老朽化が否めない状態に加え、他の小学校と比較し校舎や運動場が狭隘な状況であり、教育委員会としましては、子どもたちの教育環境を一番に考え、一日でも早く着手しなければならないと考えております。各委員ならびに傍聴に来られたみなさまも同じお考えであると思っております。今回作成しました現地建替と移転建替の検討資料についてご説明いたしますので、それぞれのお立場からご意見を頂戴し、様々な角度から検討し方向性を示していただきたいと思いますと思っております。

(3)任命書ならびに委嘱状交付、(4)委員紹介

- ・重野委員に代表授与、各委員より自己紹介

(5)委員長、副委員長の選出

- ・委員長に寺村委員、副委員長に深井委員を選出し、全員の賛同を得た
- ・寺村委員長議事進行のもと、委員8名全員が出席し本委員会が成立していること報告

(6)検討説明書説明

- ・事務局より、安土小学校整備候補地選定調査業務検討説明書をもとに、安土小学校における現状の課題等をふまえつつ、候補地における建替基本構想、概算事業費も含めた比較検討状況を説明

(7)質疑応答

【委員】

コミュニティセンターを含めたコミュニティエリア整備(移転建替)事業費が約44億5千万円となっているが、小学校移転建替事業費(約37億1千万円)との差額は、コミュニティセンターの整備費という認識でよろしいか。

【事務局】

差額約7億4千万円がコミュニティセンターの建物、設備等を含めた整備費となる。

【委員】

事業費について、移転建替が現地建替に比べ約6億円高くなっているが、金額差の主な要因は何か。

【事務局】

土地購入費のほか、移転候補地は現状が農地のため造成工事、水道等のインフラ整備費が必要となるため。

【委員】

移転候補地におけるボーリング調査の結果は問題なかったという認識でよろしいか。

【事務局】

現地との比較においては、粘土層が堆積していることから軟弱といえる。

【委員】

普通教室の数は十分に確保されていることは理解したが、音楽室等の特別教室はどのように考えているのか。

【事務局】

直近に整備した岡山小学校と児童数が近く、岡山小学校における整備実績をベースに面積を算出している。設計の段階で最新、今後の状況に配慮しながら、必要教室数、面積等の算定を行う予定である。

【委員】

例えば桐原小学校では玄関ホールに図書室が整備されている。安土小学校においても何かシンボルとなるような教育環境の整備は検討しているか。

【事務局】

具体的な整備内容は設計段階において検討するものとし、岡山小学校と同程度の普通教室、特別教室等のキャパシティは確保している。

【委員】

移転建替案は出入口を複数整備できるとあるが、具体的にどのようなものか。

【事務局】

現状は道路が東側にしか面しておらず、1箇所しか整備されていないため、自動車の進入路、登下校する児童が同じ所を通っている。複数出入口を設けることで、登下校、自動車の進入路を分離することができる。

【委員】

現地建替案でも複数出入口を確保できるか。

【事務局】

校舎整備予定の位置は東側しか道路に面していないことから、建物の配置を工夫しなければ難しいと考えている。

【委員】

現在、雨の日等で送迎をされる際に道路上に自動車複数停車している状態となっているが、現地建替によって渋滞は解消されるか。

【事務局】

学校の敷地内でスペースを設けることができれば、解消できるのではないかと考えている。渋滞の現況については、学校現場におられる委員長がご存じかと思うが、どのような状況であるか。

【委員長】

日常的ではないが、大雨で児童が下校できない時など、臨時的に多くの送迎がある場合は、学校敷地内に待機できるスペースが少ないため、学校前の道路で渋滞が発生する。

【委員】

事業スケジュールについて、現地建替より移転建替の方が着手から1年長くかかるという認識でよろしいか。

【事務局】

移転建替の場合は造成等の工事が発生するため約1年分工期が長くなる。

【委員】

学校規模の比較について、特に子どもたちにとっては通学距離もひとつの目安になるのではないかと考える。移転建替の場合、児童の平均通学距離がどれほど変化するのか資料があれば教えてほしい。

【事務局】

現在は児童別の通学距離に関する情報は把握していない。算出方法も含め、次回委員会の際に資料が提供できるかどうか検討する。

【委員】

法的基準に関して、現地建替の4階建校舎と現在の運動場面積は満たしているのか。また、仮に5階建校舎とした場合はどうか。

【事務局】

4階建校舎の面積、運動場面積とも小学校設置基準を満たしている。ただし、現地は第1種住居地域として建蔽率、日影等の規制がある。5階建など高い建物を建てる場合は、関係機関だけでなく、周辺住民の同意が重要かと思われる。

【委員】

今後の取り組み方として「現地」、「移転」いずれかの結論を出す必要があるのか。

【事務局】

最終的には委員会として「現地」、「移転」いずれかの結論を出していただきたい。

【委員】

各委員が主催する会議等に併せて、地域住民への説明会を開催する場合、事務局から説明していただけるのか。

【事務局】

必要であれば、事務局から検討資料の内容について説明を行う。

【委員】

委嘱期間が選定結果を教育長に報告する日までとあるが、具体的にいつまでに結論を出す必要があるか。

【事務局】

市として子どもたちの教育環境を一番に考え、少しでも早く着手するためにも、年内を基準として結論を出していただきたい。

【委員長】

いずれの案も教室数は確保されているとのことだが、仮に現地建替の場合、移転建替と同じ面積が確保できるのか。また、例えば桐原小学校にある桐原っ子ホールのような多目的ホールを整備することは可能か。

【事務局】

いずれの案も校舎の機能としては、岡山小学校と同程度の教室数、面積が確保できると考えている。桐原っ子ホールに関しては、コミュニティエリアの一体整備として地域連携施設整備に係る国の補助を受けており、学校単独整備の場合は補助採択の実現性が懸念される。

【副委員長】

学校の整備に想像以上の期間がかかることを痛感した。地域の子どもたちのため、より良い教育環境の整備を少しでも早く実現できるように、各委員が一丸となって検討を進めていきたい。

8. その他

次回委員会の開催は9月を予定

9. 閉会